

平成29年度 第4回北陸地方整備局 事業評価監視委員会

平成29年度第4回
北陸地方整備局
事業評価監視委員会

対象事業位置図

輪島港輪島崎地区避難港整備事業
(再評価)

金沢港大野地区国際物流ターミナル
整備事業(防砂堤)
(事後評価)

甚之助谷地区直轄地すべり対策事業
(再評価)

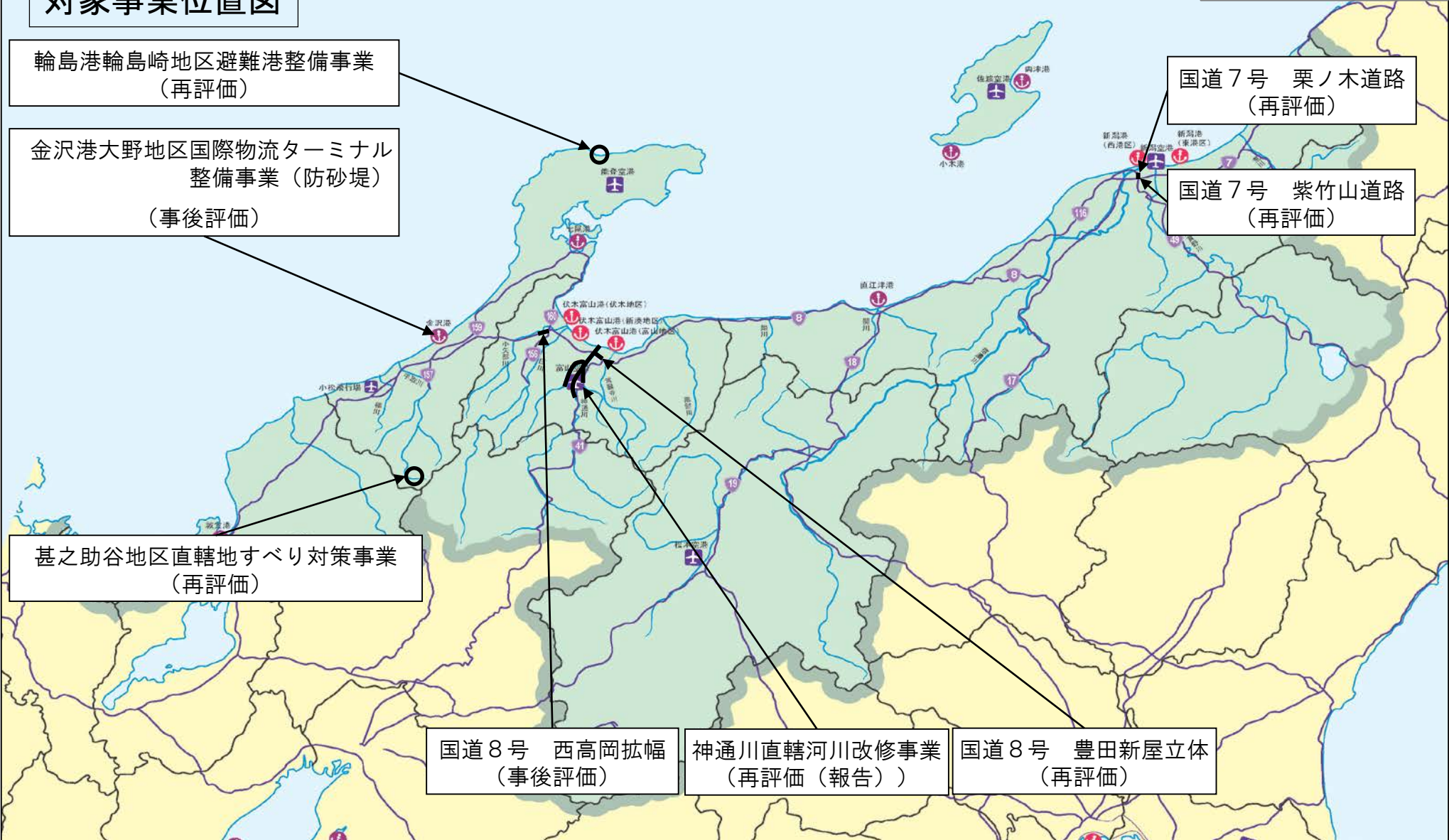
国道8号 西高岡拡幅
(事後評価)

神通川直轄河川改修事業
(再評価(報告))

国道8号 豊田新屋立体
(再評価)

国道7号 栗ノ木道路
(再評価)

国道7号 紫竹山道路
(再評価)



平成29年度 第4回事業評価監視委員会 審議案件の概要

【再評価】

事業名等	事業化等年次	前回再評価年度	該当要件	全体事業費		事業期間		全体B/C (残事業B/C)		H29年度末までの投資額 見込み(進捗率)	対応方針 (原案)	審議区分	備考
				前回再評価	今回再評価	前回再評価	今回再評価	前回再評価	今回再評価				
1) 地すべり事業の再評価													
・ 甚之助谷地区直轄地すべり対策事業 (金沢河川国道事務所)	昭和36年度	平成26年度	再評価後3年経過	約133億円	約133億円	62年	62年	5.1 (5.8)	5.1 (5.8)	約117億円(88%)	事業継続	一括審議	※国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の運用について(通知)に基づき、B/Cは平成26年度評価時点
2) 道路事業の再評価													
・ 国道7号 栗ノ木道路 (新潟国道事務所)	平成19年度	平成26年度	再評価後3年経過	約230億円	約270億円 (増額17%)	17年	20年 (延長18%)	1.5 (3.6)	1.2 (3.8)	約168億円(62%)	事業継続	重点審議 事業費の増加のため	※「道路事業・街路事業に係る再評価実施要領細目」第2に基づき、一体となって効果を発揮する道路ネットワークのため、まとめて再評価を実施
・ 国道7号 紫竹山道路 (新潟国道事務所)	平成23年度	平成26年度	再評価後3年経過	約195億円	約210億円 (増額8%)	12年	16年 (延長33%)	1.9 (2.4)	1.7 (2.8)	約72億円(34%)	事業継続	一括審議	
・ 国道8号 豊田新屋立体 (富山河川国道事務所)	平成21年度	平成26年度	再評価後3年経過	約230億円	約290億円 (増額26%)	14年	17年 (延長21%)	6.1 (6.3)	4.6 (6.6)	約78億円(27%)	事業継続	重点審議 事業費の増加のため	
3) 港湾事業の再評価													
・ 輪島港輪島崎地区避難港整備事業 (金沢港湾・空港整備事務所)	昭和53年度	平成26年度	再評価後3年経過	約382億円	約382億円	44年	44年	5.0 (26.8)	4.9 (59.8)	約345億円(90%)	事業継続	重点審議 需要量の算定方法を見直したため	

※表示桁数の関係で増減率と一致しないことがある

【事後評価】

事業名等	対応方針(案)		同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	事業化等年次	完成年次	全体事業費	全体B/C (事後)	備考
	今後の事後評価の必要性	改善措置の必要性						
1) 道路事業の事後評価								
・ 国道8号 西高岡拡幅 (富山河川国道事務所)	必要なし	必要なし	必要なし	昭和52年度	平成25年度	約235億円	1.1	
2) 港湾事業の事後評価								
・ 金沢港大野地区国際物流ターミナル整備事業(防砂堤) (金沢港湾・空港整備事務所)	必要なし	必要なし	必要なし	昭和63年度	平成24年度	約76億円	1.1	